

奨励賞・U40 建築賞



設計担当者

落合正行

東京建築士会、日本大学理工学部まちづくり工学科



共同設計者

杉本将平

東京建築士会、PEA... / 落合建築設計事務所

事務所兼用住宅 / 東京都大田区

上池台の住宅 いけのうえのスタンド

構造 | 鉄骨造

階数 | 地上3階

敷地面積 | 50.93㎡

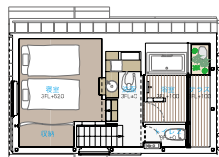
建築面積 | 29.11㎡

延べ面積 | 82.78㎡

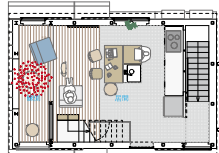
竣工 | 平成28年10月31日



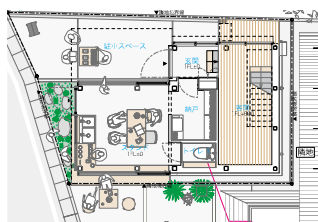
1



3階



2階



1階

平面図



2



3



4



5

- 1 西側外観。1階は通りを行き交う人々が気軽に立ち寄れる「スタンド」。さまざまなイベントなどが開催され、通りに賑わいがあふれ出す
- 2 2階LDKから縁側を見る。仕上げと天井高さを切り替え、緩やかに空間を分節
- 3 2階縁側からLDKを見る

- 4 2階から3階の動線。洗面と浴室、奥の寝室へと連続する
 - 5 テラスから浴室を見る。浴室は採光スペースとしても活用
- 写真1上～5…堀田真雄
写真1下…PEA... / 落合建築設計事務所

選評

細分化が進む住宅街の狭小地に建つ、建築家の自邸。1階をスタンドと称し、平時は設計事務所、時にコーヒースタンドや教室・マルシェなど近隣住民のコミュニケーションの場として街に開いている。これらの仕掛けは設計者自身が協力者を募って開催している。「活動領域を拡張する新しい建築家像」と言うは易しだが、数年にわたり実践し続けている点は評価に値する。

一方、狭小住宅の設計という切り口から見てもさまざまな見どころがある。2階のLDKは隣地からの延焼を防火壁で遮りつつ、通り側に内部的な縁側を確保している。半屋外と室内が限りなく近い関係で連続しており、狭小の住まいの中に取って質の異なる空間を並列させることで、変化する場の豊かさを生み出している。3階の洗面・浴室・寝室に至る連続空間は、コンパクトな

ながらも、隣接する部屋や周辺環境の風景の断片をあちこちに垣間見ながら移動する楽しさがある。また閉じた部屋となりがちな浴室を採光スペースとして使うアイデアは、狭小住宅にありがちな敷地奥の閉鎖感を和らげ、単純な面積では測れない広がりを感じさせる構成となっている。一つの建築の中に街との多様な接し方を生み出している点が秀逸だった。（富永祥子）